

令和元年度
都筑区自立支援協議会

進路部会 年間報告



進路部会 幹事メンバー

- | | |
|-------------------|-----------|
| * 上菅田特別支援学校 | 相 田 |
| * 日野中央高等特別支援学校 | 鍋 田 |
| * みどり養護学校 | 八木下 |
| * 第3かたるベ社 | 金 田 |
| * ピアジョブサポート・センター北 | 太 田 |
| * つづきの家 はぴねす | 大 貫 |
| * 都筑区基幹相談支援センター | 中谷、八木澤、吉濱 |

進路部会の目的

障害のある高校生（特別支援学校・養護学校および高等学校・高等専修学校・サポート校に在籍している方）の卒業後の支援に関する事について、学校・日中活動事業所・就労支援センター・計画相談事業所など各関係機関と情報共有を図り、課題等について意見交換を行う。

第1回全体会

日 時： 令和元年8月8日（火） 17：45～19：30

場 所： かけはし都筑

出席機関： 48機関、 出席者人数： 58名

内 容： テーマ「実習についてあらためて考えよう！！」

* 実習における横浜ルールの共有

* グループワーク 実習の流れや評価票などについて、情報交換・意見交換

第1回 全体会を振り返って

○「実習」の意義を再確認することができた。

～本人にとって、学校にとって、事業所にとって～

- * 本人の強みに気づく、自己理解の促進
- * 意思決定支援のツール
- * 保護者とのすり合わせに苦慮することあり。

☞それぞれの立場から活発に意見交換することができた。



第2回全体会

日 時： 令和2年1月27日（金）17:30～19:40

場 所： かけはし都筑

出席機関： 47機関、出席人数：55名

内 容： テーマ「きれめない支援をしていくために、何が必要か？」

～卒業や就労など大きく生活環境が変わる時など～

* 共有事例発表

* グループワーク

第2回 全体会振り返り

共有事例を通して・・・ 成果と課題が明確に整理された。

役割分担の明確化

関係機関の情報共有、連携

転換期（移行期）のスムーズな支援体制

制度のはざまをどのように支援していくか

グループワークを通して・・・

多職種による支援体制の必要性

本人の希望、適性等についても、保護者ともイメージを共有する必要性



今年度の成果と課題



* 学校と事業所の顔の見える関係づくり、情報共有が図れている

- 都筑区+近隣区の支援者が参加しており、広く情報を共有できている。
- 個別のケースを考えるだけでなく、広く移行支援について考えるきっかけとなっている。

* 幅広い機関が所属しているため、個々の課題を掘り下げていくことに難しさがある

次年度へ向けて

卒業後の生活の充実のために、学校と福祉機関が連携して考えていきます。

*「移行支援」のテーマに沿いながらも、それぞれの状況の課題に合わせたテーマ設定の検討をします。

*「移行支援」にかかわる、さまざまな地域課題について、関係機関で考えていきます。